

畜大 としょかん だより

第3号

★学生サポーターの活動記録
館内ツアー、ブックユース、オープンキャンパスなど
★柴口先生オススメ本！



図書館まめちしき

「閲覧室2階のコピー機の使い方」ご存知ですか？
こちらのコピー機は、図書館の資料をコピーするための
もので、自分のノートなどのコピーは利用出来ませ
ん。コピー機の横にある「文献複写申込書」の注意事項
を良く読んで、必要事項を記入し、カウンターに「申込
書」を提出してから利用してください。
(著作権法に違反しない範囲：新着雑誌のコピー、1冊
全部のコピーなどは出来ません)

編集発行：2014年8月
畜大図書館学生サポーター

★今回の特集は・・・

図書館サポーター活動記録 です。

6月～8月にかけて、図書館サポーターは大活躍。活動のあれこれを紹介いたします。

★図書館「館内ツアー」を実施しました。

6月16日～25日まで、館内ツアーを行いました。ツアーガイドのシナリオを作り、準備はバッチリだったのですが、参加者は残念ながら（少なかったなあ。。。）時期が悪かったのか、宣伝が足りなかったのか、1人でも多くの方に図書館を知ってもらうため、またやりますよ！！

★ブックリユース2014を実施しました。

7月16・17日の2日間、かしわプラザにおいて「ブックリユース2014」を実施しました。サポーターも約4000冊の本を運んだり、受付を担当したりと大活躍。来てくれた方々に楽しんで本を選んでもらえるように、BGMやコーヒーなど雰囲気づくりも工夫しました。全体で970冊、リユースの利用がありました。沢山の方に利用されて良かった。片付けの後は、美味しいピザや差し入れのシュークリームなど、楽しい打ち上げで締めくくりました。皆さん、お疲れ様でした。ここからは、サポーターの感想です。



伊藤さん：沢山の方が来てくださり、皆さんの様々なチョイスに私たちも楽しめました。全巻セットで本が貰われていった時は、本当に嬉しかったです。

細矢さん：リユース用の本に「消印」を押す。本を展示する。中々できない体験をすることができました。普段図書館の方がどんな仕事をしているのか、少し知れた気がして楽しかったです。

石澤くん：沢山の人に本をもらってもらえるように、本のページを開いて見たり、表紙を見せたり、展示を工夫しました。打ち上げのピザが美味しかった。

前くん：今回、惜しくも4桁に届かなかったのは残念。次回は1000冊目指すぞ！！差し入れのアイスが嬉しかった。

鈴木くん：時間をかけて準備したアイスコーヒーを喜んでいただけて嬉しかったです。リユースも数多く出て、利用者が求める本が提供できて良かったと思います。

竹内くん：本を読みたい、欲しい！という方が畜大にこんなにいたのかと驚きました。重い本を十冊以上かかえながら、しあわせそうな利用者さんを見てこちらも嬉しくなりました。



★オープンキャンパスに参加しました。

8月2日に開催されたオープンキャンパス。今年は、サポーターの石澤君にお手伝いをお願いしました。石澤君から感想を一言。

私は「図書館サポーター」として、オープンキャンパスで図書館のイベント「データベース体験」、「しおり作り」、「館内ツアー」のお手伝いをしました。



「データベース体験」では、参加者に“手作りのメモ帳”をプレゼントしました。最初、参加者の方々は緊張した様子でしたが、プレゼントは“笑顔”で受け取っていただくことができました。受験生にとっては一大事である『オープンキャンパス』に「図書館サポーター」としてかかわることができ、とても貴重な思い出となりました。(石澤)

★企画展示を行っています。

7月24日から、図書館2階閲覧室においてサポーターが選んだ「畜大生の畜大生による畜大生に読ませたい本」の企画展示を実施中。図書館の時間外（夜間・土・日）アルバイトの学生さんも参加して本を選び、POPも作りました。もちろん、貸出も行っています。是非ご覧ください。



図書館からのお知らせ

★夏休み中の開館時間・長期貸出について

夏休み中の開館時間は、9:30～17:15 土・日・祝日はお休みです。

また、長期貸出を行っていますので、どうぞご利用ください。

期間：8月1日(金)～9月18日(木) 返却期限：10月3日(金)

★携帯電話版 OPAC をご存知ですか？

携帯電話の QR コード読み取り機能を利用して、本学の蔵書検索 OPAC にアクセスすることができます。携帯電話版 OPAC では、蔵書検索、MyLibrary（図書の貸出延長・予約）、開館カレンダー、Library News が利用できます。

自宅や外出先でも、返却期限の確認・延長ができるので便利です。どうぞご利用ください。



みつとみ俊郎

『音楽はなぜ人を幸せにするのか』

音楽を聴いてただ快い気持ちになったり、感動していればそれでいいのですが、何とかそれを言葉にして説明したいという気持ちを抑えきれないのが人情（あるいは病気？）。そんな気持ちがある程度満足させてくれるのがこの本です。今までも、そのような本はあまたあったのですが、どれもかゆい所に手が届かないむずむず感が否めませんでした。この一冊ですべてが氷解するというわけではありませんが、そうだったのか、という点はいくつか発見することができますと思います。

(柴口)

人間科学研究部門
柴口先生のオススメ本！



獣医学ユニット(5年)
伊藤さんのオススメ本！

梨木香歩 春になったら苺を摘みに

【図書館 文庫コーナー】



「西の魔女が死んだ」の作者、梨木香歩さんのエッセイ作品です。「西の魔女」の世界の隣にあるような、エッセイとは思えない幻想的で優しいイギリス生活が描かれ、梨木さんの自己と他者、そして世界に対する思索とが、絡まって美しい音楽のような雰囲気醸し出します。物語よりも不思議な人生を歩む、西の魔女のようなウェスト夫人の家でのKの下宿生活と、様々な人種、異文化との交流。

「理解はできないが受け容れる。ということ、観念上だけのものにしない、ということ。」梨木さんの世界観の起源を感じられるような、奥深く素敵な一作です。

(伊藤)